

# 五木地域森林整備推進協定に係る平成29年度取組実績

## 1.日本製紙木材(株)八代営業所及び(株)南栄との路網連結について打ち合わせ

・山川内国有林と日本製紙仏石社有林を連結する路網作設について意見交換

(熊本南部森林管理署 平成29年5月19日)

## 2.森林整備センターとのシステム販売 協調出荷に係る現地検討会

・森林整備センターの契約林について、国有林のシステム販売の協調出荷について意見交換

※平成29年度後期のシステム販売に森林整備センターが参加

(五木村内森林整備センター契約林 平成29年6月19日)



### 3.五木村長との意見交換

- ・協定者間のシステム販売に関する現地検討会報告・意見交換

(五木村役場 平成29年6月19日)

### 4.日本製紙(株)並びに日本製紙木材(株)との今後の取組予定等について意見交換

- ・これまでの取組と今後の取組について意見交換

(九州森林管理局 平成29年7月4日)

### 5.森林整備推進協定運営会議に係る事前会議及び3WG合同会議

- ・施業団地内の図面データ共有について
- ・次期協定に向けた図面の確認等について
- ・今後の進め方等について意見交換・情報共有

(熊本南部森林管理署 平成29年9月25日)





## 6.地域林業の成長産業化に向けた新たな林業経営システムの調査検討業務の委託

・日本森林技術協会九州事務所へ五木地域森林共同施業団地を対象とした具体的な取組についての検討を委託(コーディネーターによる活動の展開)

(九州森林管理局 平成29年10月3日)

## 7.高性能林業機械(タワーヤーダ)現地検討会

・高性能林業機械であるタワーヤーダについて、(株)泉林業の協力の下、各協定者の参加により実施

(五木村 民有林 平成29年10月4日)

## 8.日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)の森林再生事業化委員会等による五木村等訪問

・JAPICが五木村、五木村森林組合等を訪問し、各取組について意見交換

(五木村 平成29年10月11日)





## 9.日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)の森林再生事業化委員会主催による現地検討会

・ドローンの実演、酒井先生による「五木地域でのSCM」の講演、次世代林業モデルの実現に関する意見交換、住友林業のタワーヤード視察等を実施

(五木村外 平成29年11月6日～11月8日)



## 10.各協定者等へのヒアリング

・五木地域森林・林業コーディネーターとともに各協定者等へ林業の成長産業化に向けた全体構想の取り組むべき事項についてヒアリングを実施

・ヒアリングに基づき、山元還元に向けた協調出荷等について検討

(五木村役場外 平成29年10月16日～11月30日)



## 11.森林整備推進協定の3WG会議

- ・施業団地のエリア拡大及び統合並びに新規協定者について
- ・共通図面のGISデータの配布(DVD)
- ・各協定者等へのヒアリング結果後の現状と課題及び協調販売の進め方についての提案(コーディネーター)
- ・中間土場の活用方法等について
- ・共同施業団地内の取組について
- ・来年度の施業実施等について
- ・各協定者間における個別連携に向けた打合わせ

(五木村役場 平成29年12月18日～12月19日)



## 12.シカ被害対策協定締結

・森林共同施業団地内において課題となっているシカ被害対策について取組強化を図るため、五木村及び熊本県猟友会五木支部とくりわなの無償貸し出しに係る協定を締結

(五木村役場 平成30年2月9日)



## 13.林道への鉄鋼スラグ敷き込み

・路盤強化のための鉄鋼スラグの敷き込み

(内谷国有林内谷林道 平成30年2月～3月)



# 五木地域森林共同施業団地の共通図面の作成・データの共有等について

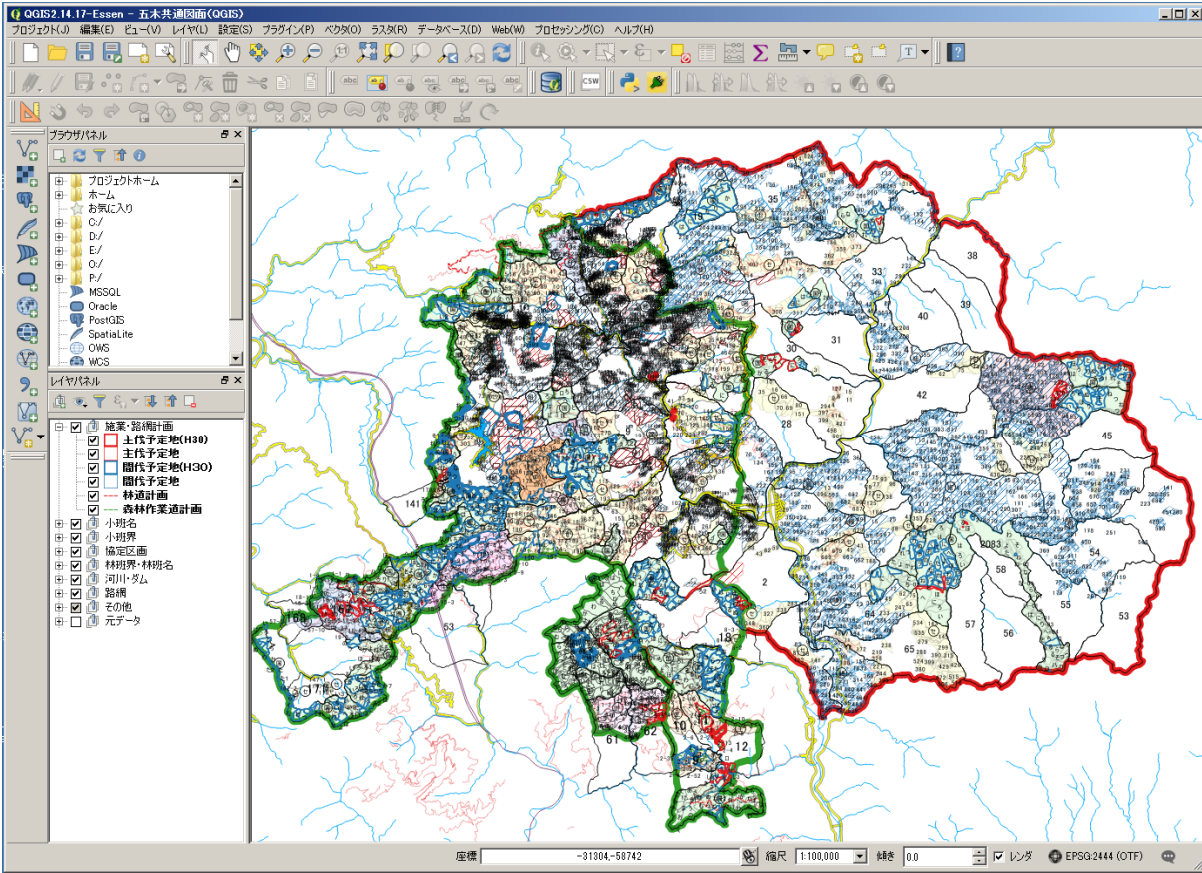


共通図面の更新(対象森林、施業予定、路網の追加等)





DVDでGISデータを共有

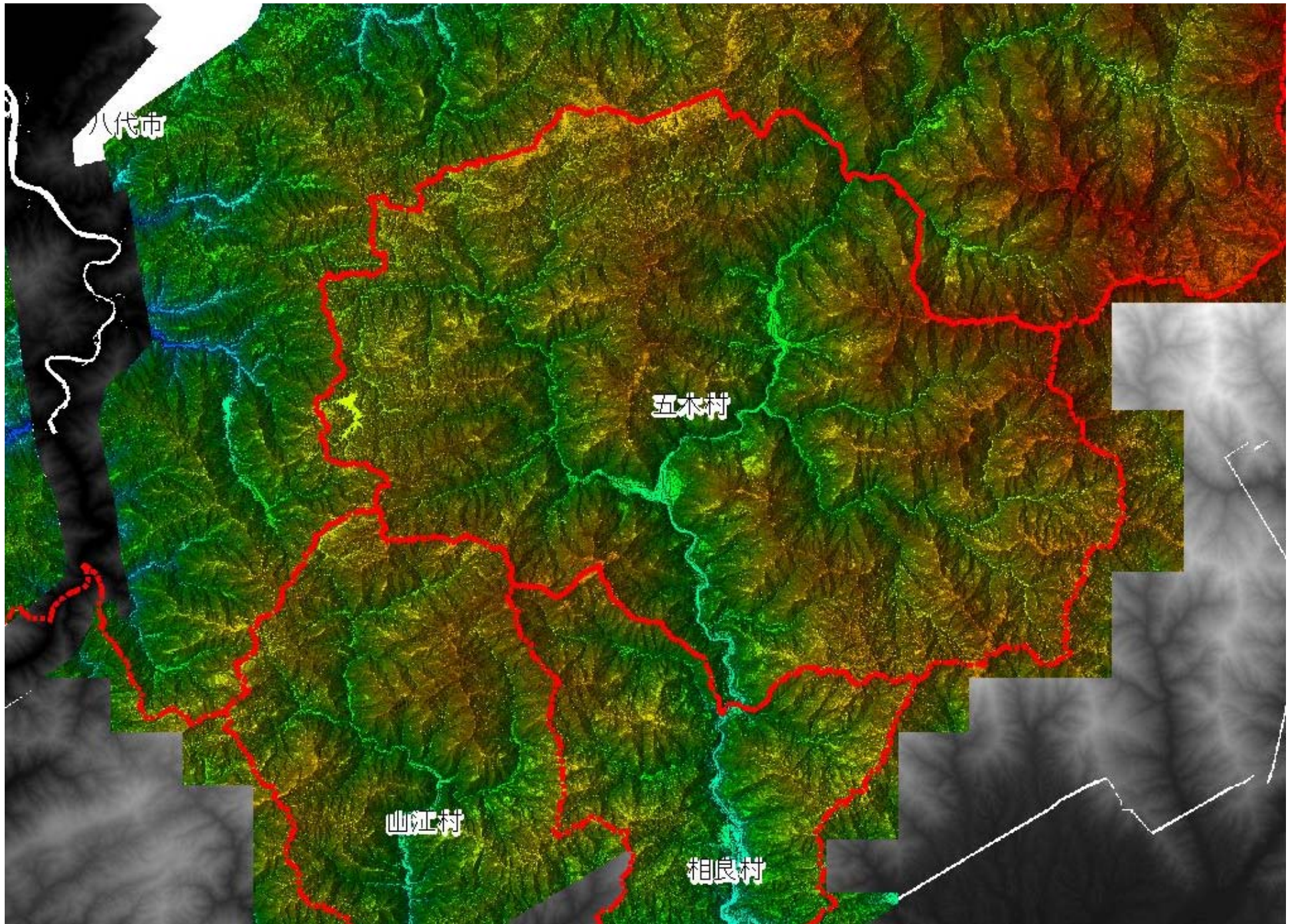


QGISを使用



操作方法の説明





航空レーザー計測データ(DEMデータ)を活用した立体図の導入



# 山元還元ビジネスモデル

## <提案>

### 目標

山側に利益を還元して村を元気に。

### 手段

- ・ 生産者が結束して大口を形成する。
- ・ 生産・流通で可能なコストカットを実現する。

### ねらい

安定供給を継続し信頼関係を構築する。



# 山元からの直送による生産・流通経費縮減効果(試算) 〈五木地域からのビジネスモデル〉

## 原木市場出荷

山元価格  
6,400円/m<sup>3</sup>

市場までの輸送費  
2,000円/m<sup>3</sup>



(市場落札価格1万円/m<sup>3</sup>)

市場手数料 (6%) 600円/m<sup>3</sup>  
市場桘積料500円/m<sup>3</sup>  
検知経費500円/m<sup>3</sup>

輸送・市場経費計3,600円

工場までの輸送費  
1,000円/m<sup>3</sup>

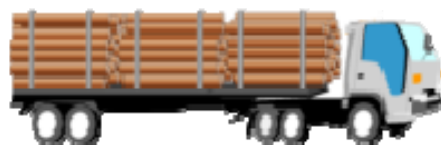


合板工場着価格  
10,600円/m<sup>3</sup>  
(平均単価+割増金)

## 直送販売

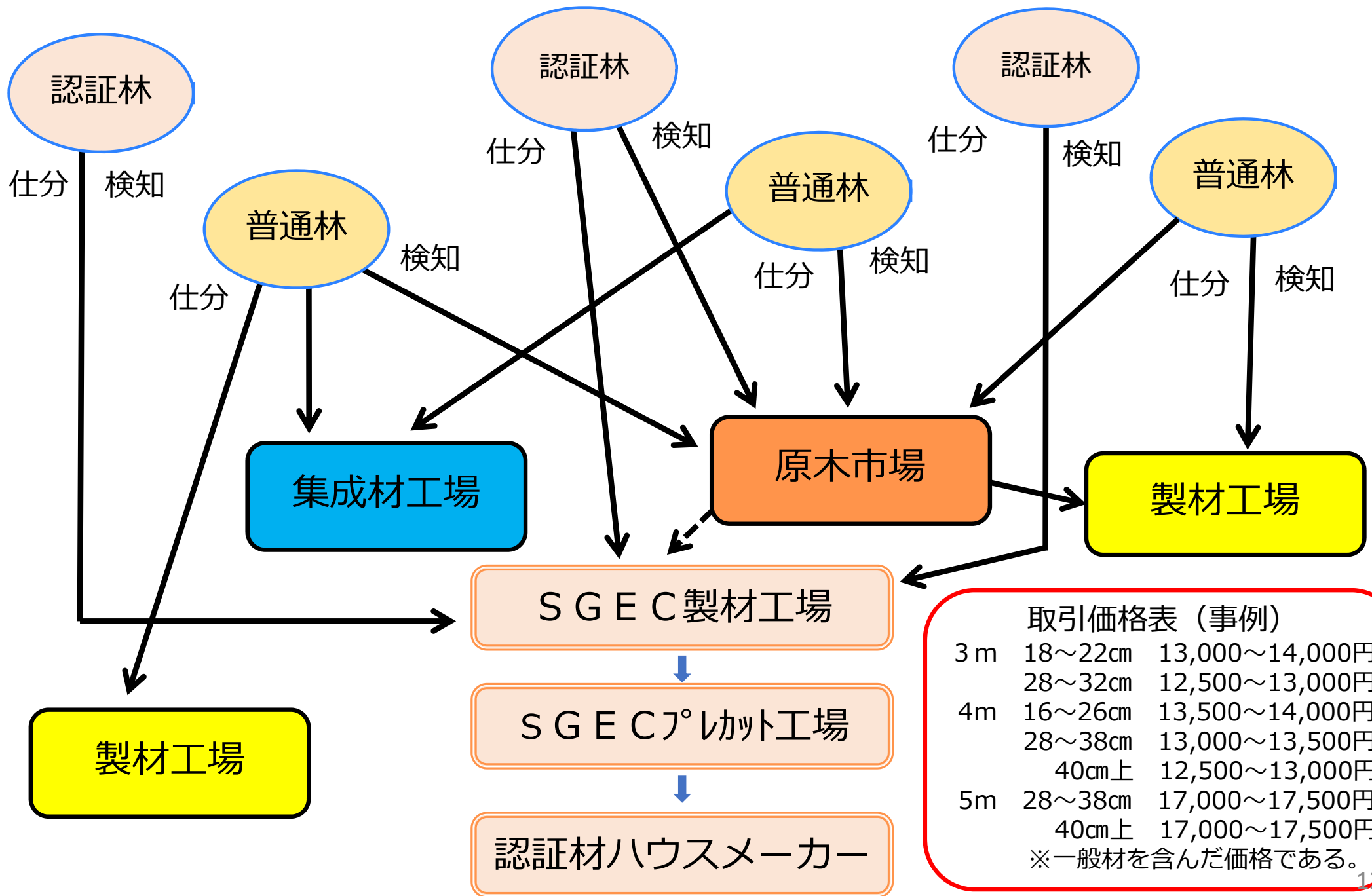
山元価格  
8,400円/m<sup>3</sup>

工場までの輸送費  
2,200円/m<sup>3</sup>



検知は造材オペレータ  
が行う。

# S G E C 認証材の協調出荷の流れ図 (スギA材)



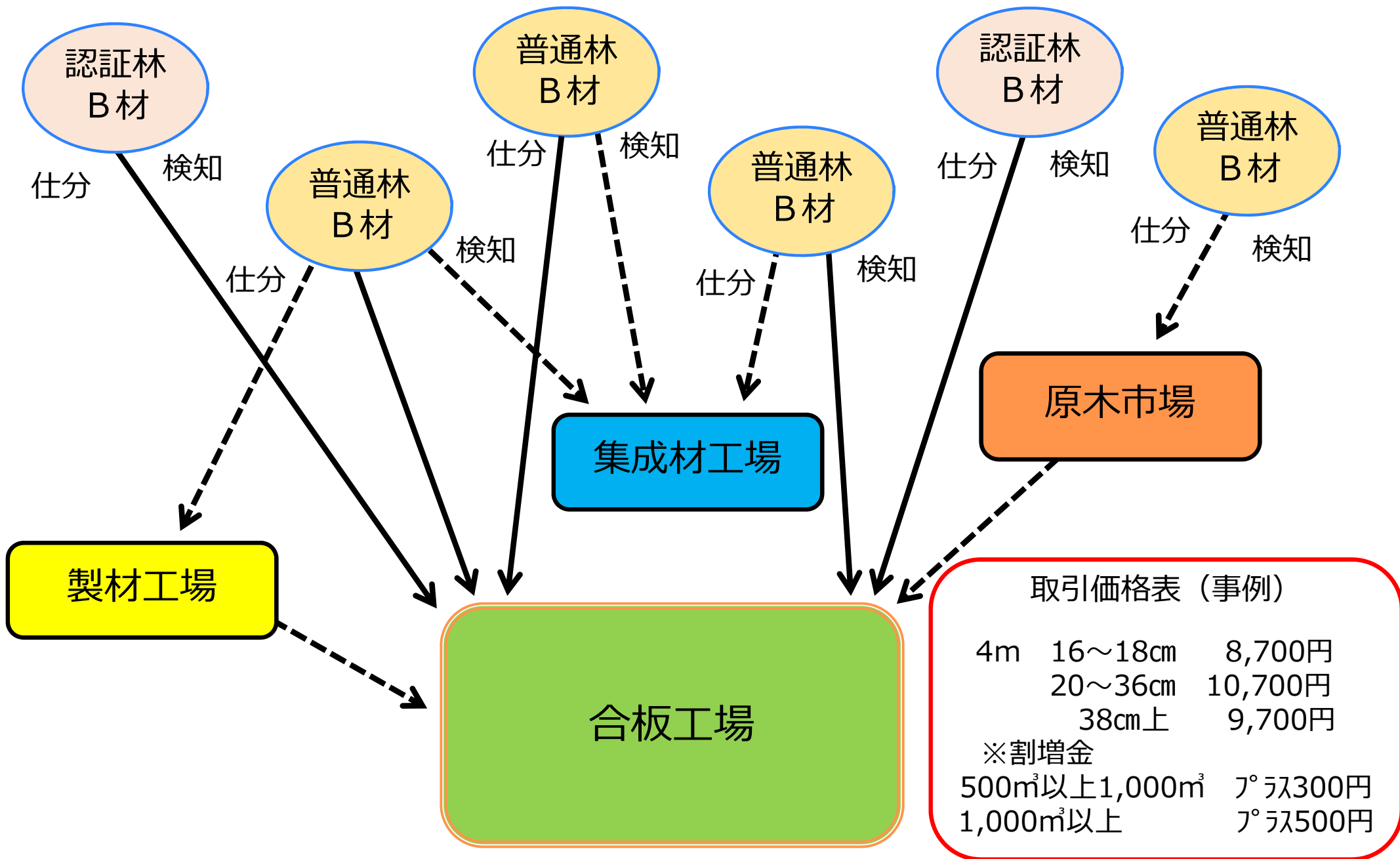
取引価格表 (事例)

3 m	18~22cm	13,000~14,000円
	28~32cm	12,500~13,000円
4 m	16~26cm	13,500~14,000円
	28~38cm	13,000~13,500円
	40cm上	12,500~13,000円
5 m	28~38cm	17,000~17,500円
	40cm上	17,000~17,500円

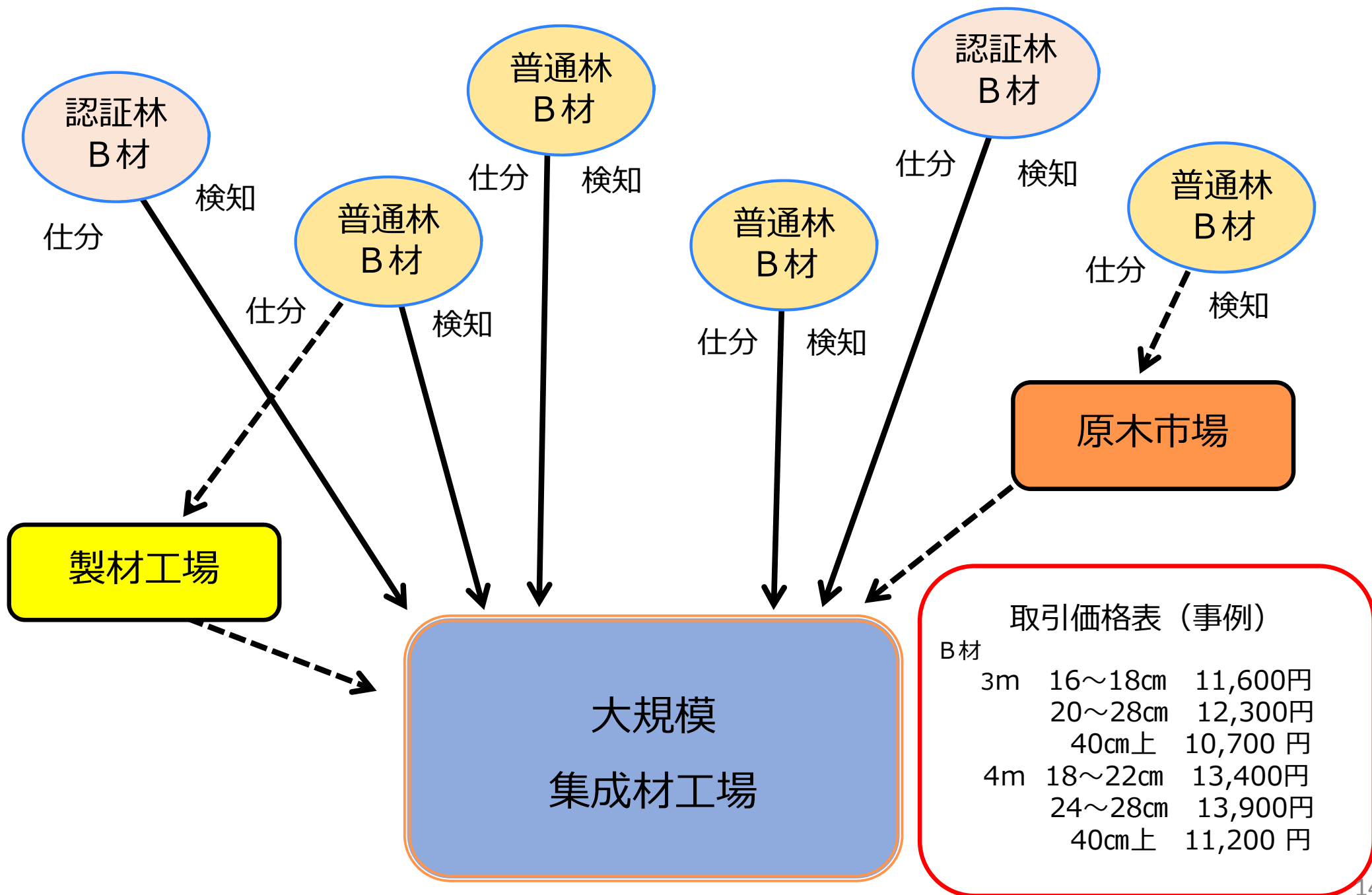
※一般材を含んだ価格である。



# 合板工場への協調出荷の流れ図（スギB材）

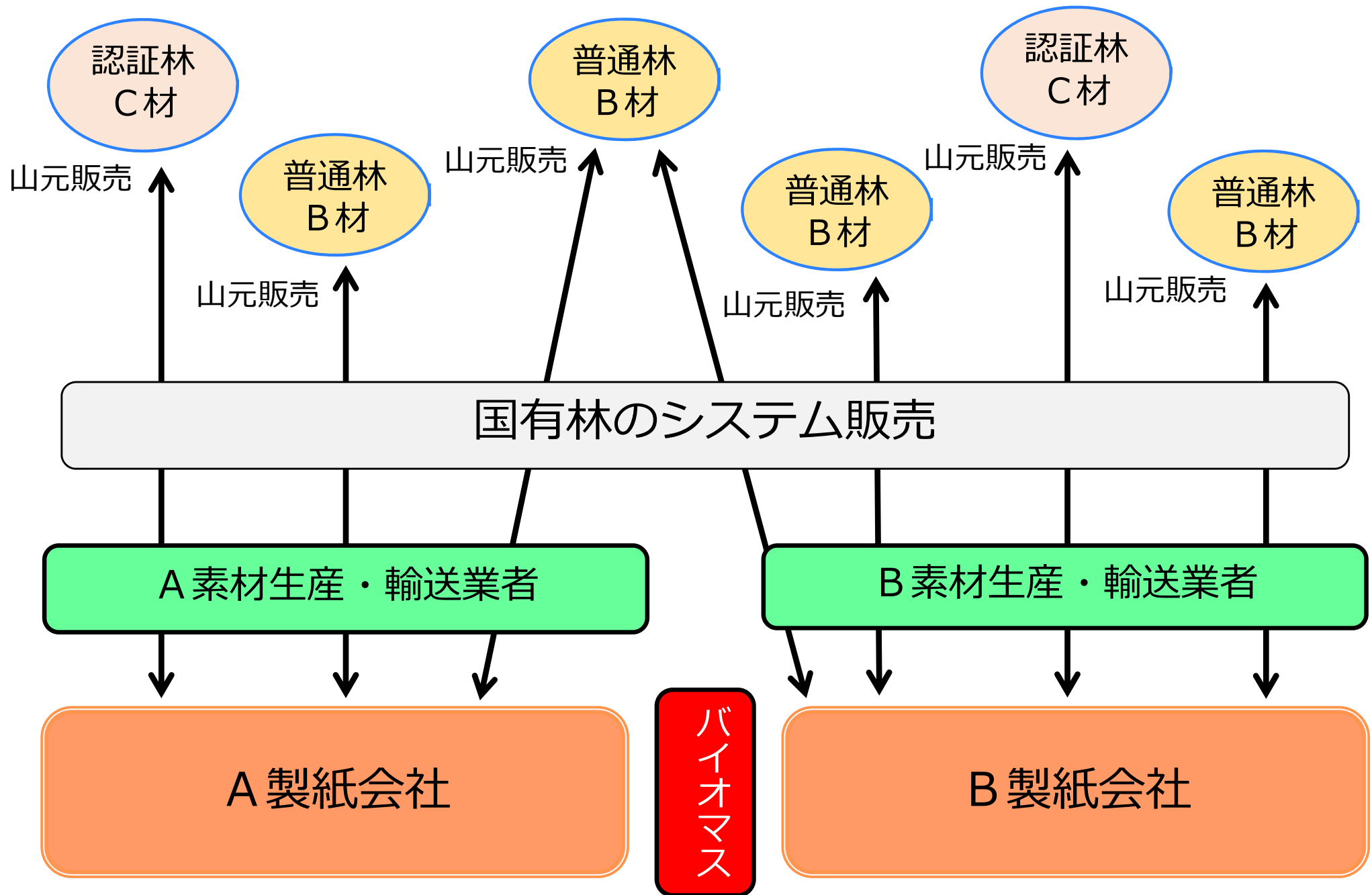


# 大規模集成材工場への協調出荷の流れ図 (スギB材)





# C材の協調出荷の流れ図（スギ・ヒノキ）



# 国有林システム販売平成25～29年度取組実績

## 販売量

五木森林整備協定内

ｽｷﾞ直曲がりセット 約 3,400m<sup>3</sup>

ﾋﾉｷ直曲がりセット 約 4,800m<sup>3</sup>

C材 約 7,300m<sup>3</sup>

計 約15,500m<sup>3</sup>

宇那川森林整備協定内

ﾋﾉｷ直曲がりセット 約 700m<sup>3</sup>

計 約 700m<sup>3</sup>

合計 約 16,200m<sup>3</sup>

## 販売先

ｽｷﾞ直曲がりセット：松島木材・フォーエバーウッド・熊本木材・肥後木材等

ﾋﾉｷ直曲がりセット：フォーエバーウッド・熊本木材・肥後木材・人吉素材流通等

C材(ﾊﾞｲﾏｽ等)：南栄・人吉木材工業団地・フォーエバーウッド等

## 企画内容

ｽｷﾞ直曲がりセット：長級:3・4m 径級:14cm上 曲がり矢高:長級の2%以内

ﾋﾉｷ直曲がりセット：長級:2・3・4m 径級:13cm上 曲がり矢高:長級の2%以内

C材(ﾊﾞｲﾏｽ等)：長級:2・3・4m 径級:6cm上 曲がり矢高:不問



# 民国連携システム販売平成25～29年度取組実績

## 販売量

五木森林整備協定内		宇那川森林整備協定内	
ｽｷﾞ 曲がり込み (九州横井林業)	約 500m <sup>3</sup>	ｽｷﾞ 直曲がりセツ	約4,200m <sup>3</sup>
ｽｷﾞ 曲がり込み (森林整備センター)	約 550m <sup>3</sup>	C材	約 100m <sup>3</sup>
ヒノキ 曲がり込み (森林整備センター)	約 820m <sup>3</sup>		
C材(森林整備センター)	約 430m <sup>3</sup>		
計	約2,300m <sup>3</sup>	計 (井上林産)	約4,300m <sup>3</sup>
合計		約6,600m <sup>3</sup>	

## 販売先

ｽｷﾞ 直曲がりセツ：フォーエバーウッド・人吉素材流通センター等  
ｽｷﾞ 曲がり込み：新栄合板工業・日本製紙木材等  
ヒノキ 曲がり込み：新栄合板工業・日本製紙木材等  
C材(バィマス等)：南栄・日本製紙木材

## 企画内容

国有林システム販売と同じ

# 民国連携システム販売平成25～29年度取組実績

